

岡本眸の秋の句

鍵しまふ抽出すこし開けて秋  
鳴く虫の草に余れば膝に来て  
咳がまた出さうな月の座をはずす  
紅萩はもの言ふたびに昏れゆくよ  
零余子採る締切時間あるごとく

松岡隆子 抽